

教育・研究業績書

診療科名 越谷病院耳鼻咽喉科		
<教員の紹介>		
教授 渡辺 建介 准教授 堤 剛 准教授 三輪 正人		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月	概要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 学生の興味が持続するように、変化のある臨床実習を心掛けている。	2004年5月～現在	臨床実習においては、常に主体的に取り組めるよう、プログラムを工夫している。臨床実習時間中は常に何かに参加して1人での自習は時間外にやらせる。
2. スライドによる授業は暗くなると眠くなるので長時間は行わない。	2004年5月～現在	スライドと黒板を併用してなるべく明るい状態で授業をする。
② 作成した教科書、教材、参考書		
STEPシリーズ「耳鼻咽喉科」	2007年 第1版 2008年 第2版	学生にわかりやすく解説した教科書です。私が監修した本です。
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院耳鼻咽喉科	教授	渡辺 建介	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1971年 11月～現在	日本耳鼻咽喉科学会	日本耳鼻咽喉科学会会員	
1972年 4月～現在	日本鼻科学会	日本鼻科学会会員	
1973年 4月～現在	日本アレルギー学会	日本アレルギー学会会員	
1973年 4月～現在	日本顕微鏡学会	日本顕微鏡学会会員	
1973年 4月～現在	日本耳科学会	日本耳科学会会員	
1973年 5月～現在	日本組織細胞化学会	日本組織細胞化学会会員	
1996年 4月～現在	日本耳鼻咽喉科学会	日本耳鼻咽喉科学会埼玉地方部会常任理事	
1996年 4月～現在	日本鼻科学会	日本鼻科学会評議員	
1996年 4月～現在	日本耳鼻咽喉科学会	日本耳鼻咽喉科学会評議員	
1997年 4月～現在	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会評議員	
1997年 4月～現在	日本気管食道科学会	日本気管食道科学会評議員	
1997年 5月～現在	日本聴覚医学会	日本聴覚医学会会員	
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>渡辺建介</u> ：アレルギー性疾患の検査法. 福田健編. アレルギー学. 南山堂, pp199-203, 2004.			
2. <u>渡辺建介</u> ：鼻洗浄の有用性. 神崎仁編, 耳鼻咽喉科, 頭頸部外科診療のコツと落とし穴 2: 鼻・副鼻腔疾患, 中山書店, pp51, 2006.			
3. <u>渡辺建介</u> ：鼻汁中好酸球の検出によるアレルギー性鼻炎と感冒の鑑別. 神崎仁編, 耳鼻咽喉科, 頭頸部外科診療のコツと落とし穴 2: 鼻・副鼻腔疾患, 中山書店, pp, 10-11, 2006.			
【原 著】			
欧文			
1. <u>Watanabe K</u> , Misu T, Ohde S, Edamatsu H: Characteristics of eosinophils migrating around fungal hyphae in nasal discharge. Ann Otol Rhinol Laryngol 113:200-204, 2004.			
2. Edamatsu H, Yamaguchi S, Eguchi T, Kawaishi J, <u>Watanabe K</u> : Can old people get benefits from cochlear. ISSN 5:169-171, 2004.			
3. Tatsumi A, <u>Watanabe K</u> : Fixation of soft tissue surrounded by bone with microwave Irradiation: Electron microscopic observation of guinea pig inner ear. Ann Otol Rhinol Laryngol 114:404-410, 2005.			
4. Hashimoto K, Seki M, Miyasaka H, <u>Watanabe K</u> : Effect of steroids on increased permeability of blood vessels of the stria vascularis after auditory ossicle vibration by the drill in otologic surgery. Ann Otol Rhinol Laryngol 115:769-774, 2006.			

5. Miwa M, Nakajima N, Matsunaga M, Watanabe K: Measurement of water loss in human nasal mucosa. Am J Rhinol 20:453-455, 2006.
6. Abe T, Murakami A, Nakajima N, Inoue T, Ohde S, Miwa M, Ueda Y, Kawabata K, Watanabe K: Oncocytic carcinoma of the nasal cavity with widespread lymph node metastases Auris Nasus Larynx 34:393-396, 2007.
7. Miwa M, Matsunaga M, Nakajima N, Yamaguchi S, Watanabe K: Hypertonic saline alters electrical barrier of the airway epithelium Otolaryngology-Head and Neck Surgery 136:62-66 2007.
8. Miwa M, Hirose T, Yamaguchi S, Nakajima N, Iwasaki Y, Murakami A, Ohmori K, Fukuda K, Miwa M, Watanabe K, 1) Koshigaya division of Clinical Research Center for Medical Science, Dokkyo University School of medicine, Harimazaka Clinic: Effects of topical corticosteroids on the transepithelial water loss in human nasal mucosa. Proceeding of Airway Secretion Research 5:37-40 2008.

和文

1. 渡辺建介, 三須俊宏, 大出茂典, 枝松秀雄: 鼻汁中の真菌菌糸周囲に遊走した好酸球の特徴. 埼玉県医師会誌 649:19-25, 2004.
2. 井上庸夫, 石崎智子, 徳丸晶子, 狩野信和, 大出茂典, 三須俊宏, 三輪正人, 渡辺建介: 喉頭癌 104 例の臨床統計. 日本気管食道科学会会報 55:446-453, 2004.
3. 廣瀬壯, 岩崎洋子, 江口智徳, 渡辺建介: スギ花粉症患者に対する鼻洗浄の効果. 日本鼻科学会会誌 44:18-22, 2005.
4. 中島規幸, 江口智徳, 山口晋太郎, 三輪正人, 渡辺建介: トロンボキサン A2 受容体拮抗薬の好酸球への影響. 耳鼻咽喉科臨床 98:591-596, 2005.
5. 中島規幸, 三輪正人, 渡辺建介: エイコサノイドによる気道粘膜のイオントランスポートの変化. アレルギー 54:1430-1433, 2005.
6. 中島規幸, 江口智徳, 山口晋太郎, 三輪正人, 渡辺建介: アレルギー性鼻炎患者におけるラマトロバンの好酸球への影響. Progress in Medicine 26:155-159, 2006.
7. 中島規幸, 三輪正人, 狩野信和, 渡辺建介: 慢性副鼻腔炎に対するラマトロバン (バイナス R錠) の臨床効果. ライフサイエンス 26:219-224, 2006.
8. 三輪正人, 中島規幸, 廣瀬壯, 岩崎洋子, 村上敦史, 松永真由美, 渡辺建介: ヒト鼻粘膜水分蒸散量の加齢による変化. 日本アレルギー学会 55:1337-1339, 2006.
9. 中島規幸, 三輪正人, 山口晋太郎, 渡辺建介, 三輪 真由美: 喫煙によるヒト鼻粘膜上皮バリア機能の変化 日本鼻科学会会誌 46:325-329, 2007.
10. 中島規幸, 三輪正人, 渡辺建介: エイコサノイドによる気道上皮物質透過性の変化 耳鼻免疫アレルギー 25:17-19, 2007
11. 徳丸晶子, 江口智徳, 渡辺建介: 好酸球性中耳炎の滲出液中の細胞の特徴 日本耳鼻咽喉科学会雑誌 110:713-719, 2007.
12. 三輪正人, 山口晋太郎, 中島規幸, 村上敦史, 渡辺建介, 高山賢哉, 一和多俊男, 長尾光修 1) 獨協医科大学越谷病院耳鼻咽喉科 2) 獨協医科大学越谷病院呼吸器内科: 気管の酸曝露モデル作成とプロトンポンプインヒビターの効果の検討 日本気管食道科学会会報 59:401-405, 2008.
13. 渡辺建介, 清水猛史: 鼻副鼻腔粘膜における水・電解質の移動 日本鼻科学会会誌 47:21-23, 2008.

14. 渡辺建介：疾患の違いによる好酸球の形態的特徴 耳鼻咽喉科頭頸部外科 80:279-286, 2008.
15. 廣瀬壯、渡辺建介：軟部好酸球肉芽腫の肉芽腫内好酸球の特徴 日本アレルギー学会 57:728-734, 2008.

【症例報告】

欧文

1. Abe T, Murakami A, Inoue T, Ohde S, Yamaguchi T, Watanabe K: Solitary fibrous tumor arising in the sphenoidal Recess: A case report and review of the literature. Auris Nasus Larynx 32:285-289, 2005.

和文

1. 大出茂典, 井上庸夫, 徳丸晶子, 安部次男, 渡辺建介：後天性喉頭軟弱症例. 耳鼻咽喉科臨床学会誌 97:43-46, 2004.

【総説】

和文

1. 渡辺建介：鼻出血の止血法. 耳鼻咽喉科臨床学会誌 97:446-467, 2004.
2. 渡辺建介：鼻茸の成因. JOHNS 20:1753-1757, 2004.
3. 渡辺建介：耳鼻咽喉科領域における感染症. Dokkyo J Med Sci 31:275-280, 2004.
4. 渡辺建介：特集・日常診療に用いられる薬剤の上手な使い方と服薬指導 2 抗アレルギー薬. 成人病と生活習慣病 35:227-233, 2005.
5. 渡辺建介：鼻出血-症状からみた救急疾患の診断手順. JOHNS 22:298-301, 2006.
6. 渡辺建介：特集-鼻ポリープの最近の病態と治療-鼻ポリープと好酸球そして真菌. アレルギーの臨床 26:29-33, 2006.
7. 渡辺建介：血管条血管の特徴 —血管の透過性について— 耳鼻臨床 100:73-82, 2007.
8. 渡辺建介：好酸球性中耳炎の類似疾患 好酸球性副鼻腔炎とアレルギー性真菌性副鼻腔炎 (AFS) ENTONI 73:31-36, 2007.
9. 渡辺建介：アレルギー性鼻炎に対する鼻洗浄療法の有効性と適切な洗浄法について JOHNS 25:439-441, 2009.

【その他】

和文

1. 渡辺建介：小児の中耳炎. 健康教室 665:72-74, 2006.

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院耳鼻咽喉科	准教授	堤 剛	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1992年7月～現在	日本耳鼻咽喉科学会員		
1993年2月～現在	日本耳科学会員		
1993年7月～現在	耳鼻咽喉科臨床学会員		
1996年9月～現在	日本聴覚医学会員		
1998年9月～現在	日本めまい平衡医学会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 大久保仁, 堤剛, 川島慶之: 聴き取り構造の比較機能解剖学—耳管をめぐる聴き取り機能の進化を中心に—インテルナ出版, 2007.			
【原 著】			
欧文			
1. <u>Tsutsumi T</u> , Nozawa M, Inaoka H, Fukuoka Y, Ishida A, Kitamura K: Time course analysis of angular control of the body and head while rising from a chair. <i>Acta Otolaryngologica</i> 124: 798-802, 2004.			
2. Takahashi H, Ishikawa K, <u>Tsutsumi T</u> , Fujigasaki H, Kawata A, Okiyama R, Fujita T, Yoshizawa K, Yamaguchi S, Tomiyasu H, Yoshii F, Mitani K, Shimizu N, Yamazaki M, Miyamoto T, Orimo T, Shoji S, Kitamura K, Mizusawa H, A clinical and genetic study in a large cohort of patients with spinocerebellar ataxia type 6. <i>Journal of Human Genetics</i> 49: 256-264, 2004.			
3. <u>Tsutsumi T</u> , Inaoka H, Fukuoka Y, Masuda T, Kitamura K: Cross-coupling in a body-translating reaction: interaural optokinetic stimulation reflects a gravitational cue. <i>Acta Otolaryngologica</i> 127: 273-279, 2007.			
4. <u>Tsutsumi T</u> , Kitamura K: Discrepancy between the directions of body translation and gaze during simultaneous optokinetic and posterior neck muscle vibration stimulation. <i>Equilibrium Research</i> 2007; 66: 130-135, 2007.			
和文			
1. 堤剛: サッケード、視運動性眼振急速相、温度眼振急速相の内転および外転眼の角速度変化について (Gap of saccadic eye movement characteristics between adduction and abduction.) <i>Equilibrium Research</i> 67: 95-100, 2008.			
2. 堤剛, 津久井慶, 喜多村健: 市販 3DVOGデータのFick座標系から主軸解析への変換とその信頼性 (Translation of a coordinate system from Fick's frame of reference to rotational axes) <i>Equilibrium Research</i> 67: 522-527, 2008.			

3. 林智誠, 堤剛, 角田篤信, 岸本誠司: 側頭骨線維性骨異形成症の手術—ナビゲーションシステムのシュミレーション手術への応用 耳鼻咽喉科展望 47: 89-90, 2004.
4. 川島慶之, 角卓郎, 稲垣桂, 堤剛, 岸本誠司: 治療に伴う痛みとそのコントロール First bite syndrome JOHNS 21:890-893, 2005.
5. 津久井慶, 堤剛, 川島真理子, 喜多村健: VOGとENGによる急速眼球運動速度計測の信頼性 Equilibrium Research 64: 451-456, 2005.
6. 津久井慶, 堤剛, 角卓郎, 喜多村健: VOGによる矢状断面での静的頭部傾斜時のListing平面の計測 Equilibrium Research 67: 311-315, 2008.

【症例報告】

欧文

1. Tsutsumi T, Nakajima N, Hirose T, Watanabe K.: Total-length invasion of the facial nerve by parotid carcinoma ex pleomorphic adenoma. Auris Nasus Larynx (in press)
2. Tsutsumi T, Hiruma M, Kawaishi J, Chida W, Watanabe K: Ocular flutter associated with a lesion of the right upper pontine tegmentum. Auris Nasus Larynx (in press)
3. Ito T, Tsutsumi T, Ohno K, Takizawa T, Kitamura K: Intracranial angiosarcoma arising from a schwannoma. The Journal of Laryngology & Otology 121: 68-71, 2007.

和文

1. 畑中章生, 堤剛, 岸本誠司: 前頭蓋底アプローチにより開放術を施行したAllergic fungal rhinosinusitisの1症例 JOHNS 21: 675-678, 2005.
2. 川島真理子, 戸叶尚史, 堤剛, 喜多村健: 肥厚性硬膜炎を合併した副鼻腔Wegener肉芽腫症の一例 アレルギーの臨床 8: 72-74, 2006.
3. 富士井睦, 高田義章, 森本卓史, 木野智幸, 武川麻紀, 堤剛, 加藤智史: 錐体骨縦骨折後に髄液耳漏が持続し髄膜炎の診断と治療に苦慮した1例 Journal of Japanese Congress on Neurological Emergencies 20: 109-112, 2007.

【総 説】

和文

1. 堤剛, 喜多村健: 臨床検査学講座 (第2版) 生理機能検査学 第IV章 感覚機能検査 1. 平衡機能検査 医歯薬出版株式会社:295-319, 2004.
2. 堤剛, 喜多村健: 臨床検査学講座 (第2版) 生理機能検査学 第IV章 感覚機能検査 3. その他の検査 (聴覚・味覚・嗅覚) 医歯薬出版株式会社:338-352e, 2004.
3. 堤剛, 喜多村健: めまい BRAIN MEDICAL 特集「橋と延髄」メディカルレビュー社 17:47-52, 2005.
4. 堤剛, 喜多村健: 前庭障害の動作解析 神経研究の進歩 特集「前庭機能とめまい」 医学書院 49:205-214, 2005.
5. 野澤真理子, 堤剛, 喜多村健: 症候性めまい ENTONI 47:46-51, 2005.
6. 佐藤悠子, 堤剛, 喜多村健: 神経耳科学的検査 Clinical Neuroscience 12 : 1391-1393, 2005.

【その他】

学会賞

1. 日本めまい平衡医学会

平成19年度『学会賞』最優秀研究論文 基礎系

Discrepancy between the directions of body sway and gaze during simultaneous optokinetic and posterior neck muscle vibration stimulation Equilibrium Research 66: 130-135, 2007.

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院耳鼻咽喉科	准教授	三輪 正人	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1981年9月～現在	日本耳鼻咽喉科学会員（現在認定専門医）		
1981年9月～現在	日本気管食道科学会員（現在認定専門医）		
1981年9月～現在	耳鼻咽喉科臨床学会員		
1982年9月～現在	日本鼻科学会員		
1985年3月～現在	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会員		
1985年4月～現在	日本アレルギー学会員（現在認定指導医）		
1988年7月～現在	日本エアロゾル学会員		
1990年4月～現在	日本産業衛生学会員		
2001年10月～現在	American Academy of Otolaryngology and Head and Neck Surgery International member		
2001年4月～現在	日本アレルギー協会員		
2003年9月～現在	American Rhinological Society International Member		
2005年6月～現在	日本耳鼻咽喉科学会埼玉地方部会理事		
2005年6月～現在	日本耳鼻咽喉科学会埼玉地方部会学術委員		
2005年9月～現在	American Rhinological Society Regular Member		
2006年2月～現在	Association for Research in Otolaryngology RegularMember		
2006年8月～現在	日本医師会員		
2007年4月～現在	AirwayClubSaitama 代表世話人		
2009年4月～現在	American Rhinological Society Fellow		
2009年6月～現在	日本アレルギー学会代議員		
2009年7月～現在	日本アレルギー学会試験問題作成委員会常任委員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 三輪正人:気道粘膜上皮の電氣的バリア機能と酸およびPPI 吉川敏一編 炎症免疫応答とプロトンポンプインヒビター 吉川敏一編, 診断と治療社, pp29-32, 2009.			
【原 著】			
欧文			
1. Miwa M, Nakajima N, Matsunaga M, Watanabe K.: Measurement of water loss in human nasal mucosa. American Journal of Rhinology 20:453-455, 2006.			
2. Miwa M, Matsunaga M, Nakajima N, Yamaguchi S, Watanabe K.: Hypertonic saline alters electrical barrier			

- of the airway epithelium. Otolaryngology-Head and Neck Surgery 136:62-66, 2007.
3. Miwa M, Hirose T, Yamaguchi S, Nakajima N, Iwasaki Y, Murakami A, Ohmori K, Fukuda K, Miwa M, Watanabe K.: Effects of topical corticosteroids on the transepithelial water loss in human nasal mucosa. Proceeding of Airway Secretion Research: 37-40, 2008.
 4. Miwa M, Ohmori K, Fukuda K, Kohyama K, Kanoh N, Iwasaki Y, Nakajima N, Yamaguchi S, Ichiwata T, Nagao K, Miwa M, Watanabe K.: Control of transepithelial electrical resistance on primary cultured airway tracheal cells excised from guinea pig. Proceeding of Airway Secretion Research: 1-4, 2009.
 5. Miwa M, Miwa M, Watanabe K. : Alterations of Intra-Maxillary Sinus Pressure Following Antrostomy, Draining Tubes and YAMIK Procedures Ear, Nose & Throat Journal in press, 2009.
 6. Miwa M, Yamaguchi S, Hirose T, Watanabe K.: Alterations of transepithelial water loss and electrical potential difference of human nasal mucosa after nasal pollen challenge. American Journal of Rhinology in press, 2009.

和文

1. 井上庸夫, 石崎智子, 徳丸晶子, 狩野信和, 大出茂典, 三須俊宏, 三輪正人, 渡辺建介: 喉頭癌 104 例の臨床統計 日本気管食道科学会 55:446-453, 2004.
2. 中島規幸, 三輪正人, 渡辺建介: エイコサノイドによる気道粘膜のイオントランスポートの変化 アレルギー 54:1430-1433, 2005.
3. 中島規幸, 江口智徳, 山口晋太郎, 三輪正人, 渡辺建介: トロンボキサン₂受容体拮抗薬の好酸球への影響 耳鼻咽喉科臨床 98:591-596, 2005.
4. 中島規幸, 江口智徳, 山口晋太郎, 三輪正人, 渡辺建介: アレルギー性鼻炎患者におけるラマトロバンの好酸球への影響 Progress in Medicine 26:155-159, 2006.
5. 三輪正人, 中島規幸, 廣瀬壮, 岩崎洋子, 村上敦史, 松永真由美, 渡辺建介: ヒト鼻粘膜水分蒸散量の加齢による変化 アレルギー 55:1337-1339, 2006.
6. 中島規幸, 三輪正人, 渡辺建介: エイコサノイドによる気道上皮物質透過性の変化 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会誌 25:17-19, 2007.
7. 中島規幸, 三輪正人, 山口晋太郎, 渡辺建介, 三輪真由実: 喫煙によるヒト鼻粘膜上皮バリア機能の変化. 日本鼻科学会会誌 46:325-329, 2007.
8. 三輪正人, 山口晋太郎, 中島規幸, 村上敦史, 渡辺建介, 高山賢哉, 一和多俊男, 長尾光修: 気管の酸暴露モデル作成とプロトンポンプインヒビターの効果の検討. 日本気管食道学会会報 59:401-405, 2008.
9. 一和多俊男, 内山健二, 小島寿郎, 高山明美, 池上岳, 赤坂圭一, 高山賢哉, 藤原寛樹, 長尾光修, 三輪正人, 渡辺建介: Asthma Control Test (ACT) を用いた気管支喘息患者の臨床的検討. 日本気管食道学会会報 59:406-413, 2008.
10. 中島規幸, 三輪正人, 廣瀬壮, 阿部実恵子, 渡辺建介: ドライノーズスプレーにより鼻粘膜蒸散量と上皮間電位差の変化 アレルギー 58:119-123, 2009.
11. 三輪正人, 渡辺建介: 過酸素によるPC12細胞カリウムチャネル活性の抑制 頭頸部自律神経 23:51-54, 2009.
12. 三輪正人, 狩野信和, 岩崎洋子, 山口晋太郎, 中島規幸, 廣瀬 壮, 阿部実恵子, 三輪真由美, 渡辺建介, 高山賢哉, 一和多俊男, 長尾光修: 初代培養気管上皮細胞の上皮膜抵抗に対する酸およびプロトンポンプインヒビターの効果 日本気管食道学会会報 60:276-280, 2009.

【症例報告】

欧文

1. Abe T, Murakami A, Nakajima N, Inoue T, Ohde S, Miwa M, Ueda Y, Kawabata K, Watanabe K: Oncocytic carcinoma of the nasal cavity with widespread lymph node metastases. *Auris Nasus Larynx*. 34:393-396, 2007.

和文

1. 中島規幸, 三輪正人, 狩野信和, 渡辺建介: 慢性副鼻腔炎に対するラマトロバン (バイナス[®]錠) の臨床効果. *Progress in Medicine* 26:219-224, 2006.
2. 狩野信和, 深澤達也, 中西宏志, 三輪正人, 中島規幸, 渡辺建介: 抗アレルギー剤が有効であった慢性副鼻腔炎の症例. *アレルギーの臨床* 28:379-382, 2008.

【総 説】

和文

1. 三輪正人, 中島規幸, 三輪真由美: 加齢による変化とそのアンチエイジングー鼻腔生理ー *JOHNS*3:1554-1556, 2007.
2. 三輪正人: 気道粘膜における水移動の病態ー電気生理学的にみた治療法選択ー *日本鼻科学会誌* 47:30-32, 2008.
3. 三輪正人, 三輪真由美: アレルギー性鼻炎の病型と重症度分類 *JOHNS* 25:356-358, 2009.
4. 中島規幸, 三輪正人, 広瀬壮, 阿部実恵子, 渡辺建介: ドライノーズスプレー噴霧による鼻粘膜水分上散量と上皮間電位差について *アレルギーの臨床* in press, 2009.

【その他】

1. 三輪正人: 鼻粘膜上皮の物理的バリア機能の動的解析 (課題番号 20592003) 科学研究費(基盤C)